

第21回調査企画部会資料の修正について

令和5年9月14日

国土交通省 水管理・国土保全局 水資源部

○あらゆる関係者が連携した高度な水利用(水の安定供給)

⑦ 半導体の製造だけでなく半導体を使う製品の製造に至るサプライチェーンの重要性を考えたときに、半導体産業への水供給が利水安全度1/10だけでよいのか、逆に特定の産業だけのために利水安全度を上げることが社会通念上適切かについて検討する必要がある。

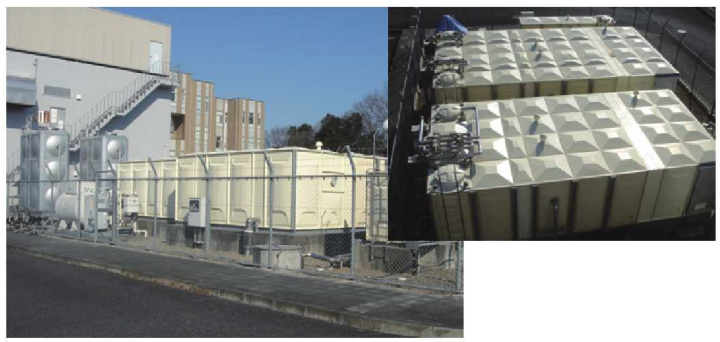
- 水供給の検討にあたっては、河川の低水管理を適切に行うための基準となる河川基準点において正常流量を満足しかつ、一般に10年に1回程度発生する規模の渇水を対象に安定した取水が行えるよう水資源開発しており、水系毎に一貫した利水安全度が確保される計画となっている。
- 国土強靱化基本計画では、「異常渇水等による用水供給途絶に伴う生産活動への甚大な影響」へ対応するため、危機時の代替水源の確保や持続的な地下水の保全・利用及び雨水・再生水利用を推進、用途を横断した相互融通、バックアップ体制の事前構築などが示されている。
- 例えば、災害拠点病院では、上水道以外の水源(地下水や工業用水)の確保や受水槽による断水対応能力の向上、水道事業者との事前調整による給水車の確保、病院間での飲料水等の支援協定などの対策が検討されている。

<水源の多系統化の事例>



【出典】福岡市水道局HP

<災害拠点病院の受水槽の設置事例>



【出典】内閣官房「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策の事例」